

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	乳房外パジェット病	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル		
	論文の日本語タイトル	京都府立医科大学皮膚科における最近 10 年間(1982～1991)の Paget 病の統計的観察	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し ()	
	ガイドライン上での目次名称	PagetCQ8-1	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (I V)	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID		
	雑誌名	西日本皮膚科	
	雑誌 ID		
	巻	58	
	号	1	
	ページ	116-120	
	ISSN ナンバー	0386-9784	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (1)	
	発行年月	1996、1	
	著者情報		氏名
筆頭著者		上田英一郎	京都府立医科大学皮膚科
その他著者 1		森島陽一	
その他著者 2		永田誠	
その他著者 3		野田洋介	
その他著者 4		竹中秀也	
その他著者 5		岸本三郎	
その他著者 6		安野洋一	
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	乳房外パジェット病における予後因子の検討	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	京都府立医科大学皮膚科	
	対象者	1982-91年の乳房外パジェット病患者 28例と乳房パジェット病 2例	
	対象者情報 (国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (1)	
	対象者情報 (性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)	
	対象者情報 (年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (15)	
	介入 (要因曝露)	なし	
	エンドポイント (アウトカム)	エンドポイント	区分
	1		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	2		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	3		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	4		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	5		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	6		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	7		1.主要 2.副次 3.その他 ()
8		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
9		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
10		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
主な結果	真皮内浸潤は 14/26 (53.8%)、リンパ節転移は 8例にみられた。11例で予防的リンパ節郭清を行った。予防的リンパ節郭清施行令では再発はみられていない。所属リンパ節転移および血清 CEA 高値群は有意に予後が悪かった。		
結論	所属リンパ節転移および血清 CEA 高値は乳房外パジェット病における危険因子である		
備考			
レビュワーコメント	レビュワー氏名	八田尚人	
	レビュワーコメント	エビデンスのレベル分類 (I V) 原則的に予防リンパ節郭清を行っているが、予後と関連づけた考察はない。	